2歳児 年間指導計画

目		① いろいろな生活や遊びをやってみようとする	る ②身近な自然に触れ、興味	を持つ
標		③ 身体いっぱいつかって、元気に遊ぼうとする ④自分の思いを伝え、進んで生活をしようとする		
子どもの姿		 ・一日の生活の流れがわかるようになり、食事、排泄の習慣や衣服の脱ぎ着、簡単な始末など、自分でできることが増えていくが、時には手助けを求めてくる。 ・目と指先の使い方が関連し合い、はし、スプーン、ハサミ、粘土、のり、クレパス等を使おうとするようになる。 ・走る、両足で跳ぶ、階段の昇り降りをするなど、基礎的な体力がついてくる。 ・自我が芽ばえ、自他の区別もできて、固執や反抗などで大人を困らせたり、しばしば友だちとのぶつかり合いが起こったりするようになる。 ・保育者や友だちと一緒に手遊びやごっこ遊びをするようになってくる。 ・意思や感情を言葉で伝えたり、動作で表現したりするようになり身近な出来事について言葉で伝えるようになる。 ・想像力の芽ばえと共に、絵本やお話や紙芝居などを好むようになり、登場人物に同化して動作をまねたり、言葉を繰り返したり、遊びの中へ取り入れる姿が見られる。 ・簡単な歌をうたったり、リズムに乗って身体を動かしたり、リズム遊びを喜んでするようになる。 ・自然物やいろいろな素材に触れたり、作ったりして遊びを楽しむようになる。 		
期		I 期 (4 月~8 月)	Ⅱ期(9月~12月)	Ⅲ期(1月~3月)
ねらい		・保育者に親しみを持ち、喜んで登園する。 ・新しい環境の中で安定して過ごし園での生活リズムや生活習慣(排泄・着脱・食事・午睡・手伝いなど)を少しずつ身につける。 ・全身を使った遊びを十分にして、健康に過ごす。	・食事の仕方が分かり、食前、食後のあいさつをす る。	 ・友だちに親しみ一緒に行動したり、同じ遊びを好んでしたりする。 ・いろいろな食べ物を味わい友だちと一緒に食事を楽しむ。 ・冬の自然に触れて遊ぼうとする。 ・生活の中で身の回りの物の名前や簡単な数・形・色などがわかり言葉を使って伝えたり、言葉のやりとりを楽しんだりする。
	心と身体	 ・新しい環境に慣れる。 ・保育者や友だちの名前を知る。 ・食事は時々介助を必要とするが、イスに座って自分で食べる。 ・新しい場所での午睡に慣れる。 ・トイレでの排泄に慣れ保育者に誘われて行く。 ・パンツやズボンをひとりではこうとするようになる。 ・保育者の言葉がけで、身体や衣服の汚れに気づき、きれいにすることの気持ち良さを知 	・簡単な手伝いを喜んでする。・食事の量を加減してもらい、スプーン・フォークも併用しながら箸に興味を持ち使って食べる。・自分で午睡の用意をする。	 ・園生活に慣れ、保育者や友だちと安心して過ごす。 ・生活・食事の基本的な習慣や態度がしだいに身につく。 ・3歳児への進級に喜びの気持ちを持つ。 ・友だちと一緒に食べることを喜ぶ。 ・午睡をしなくなる子もいるが、一定の時間横になり、休息をする。 ・排泄の間隔が長くなり、失敗がほとんどなくなる。
内	人間関係	る。 ・手伝ってもらいながら、衣服の脱ぎ着を覚えていく。 ・好きな遊具や運動遊具の使い方を知る。 ・身体を動かして遊ぶ楽しさを知る。 ・保育者と触れ合って親しみを持つ。	 ・顔や手足が汚れたら、不快感を感じ、手伝ってもらって洗ったり、ひとりで洗ったりする。 ・友だちと同じことをしたがり、喜ぶ。 ・友だちに興味を持ち、触れ合いを持つ。 	
容	環境	・自分の持ち物の置き場やロッカーを知り、保育者と一緒に持ち物の始末をする。・身近な草花や小動物に気づいたり、触れたりする。	・つき山や遊具に興味を持ち、遊ぶ楽しさを知る。・身近な食材に触れる。・使用する運動遊具などの種類が広がり、使用して遊ぶ。・身近な草花や小動物に親しみを持つ。	 ・見たり触れたり、感じたりした事を言葉で伝えたり、やりとりを楽しんだりする。 ・身近な玩具や生活用具の、正しい使い方がわかる。 ・冬の自然の中で、全身を使って遊ぶ。 ・赤、青、黄など、色の名前を知り、同じ色を見つけて喜び、色の違いに関心を持つ。
	言葉	・名前を呼ばれたら返事をする。・生活の中で必要なあいさつを知る。・好きな絵本や紙芝居を読んでもらい楽しむ。	・友達の名前に興味を持ち、名前を呼び合い一緒に遊ぶ。・あいさつや、したいこと、してほしいことを断片的に言葉やしぐさで伝えてみようとする。	・簡単なごっこ遊びのなかで、言葉のやりとり
	表現	・好きな歌を聞いたり、知っている歌をうたったりする。・指先を使った遊び(粘土・シールなど)をする。・砂・水・粘土その他の自然物を使って遊ぶ。	 ・好きな歌をきいたり、曲に合わせて動いたりする。 ・クレパスやサインペン、絵の具でぬたくり遊びをする。 ・紙をちぎったり、丸めたり折ったりして遊ぶ。 ・砂、水、粘土、そのほかの自然物を使って、見たて遊びを楽しむ。 ・積み木や人形を使って、つもり遊びを楽しむ。 	・歌に合わせて手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりする。・のり・ハサミ等指先をつかった遊びを集中して楽しむようになる。